

コロニー中央病院だより

中央病院の建設と再編計画の今後

中央病院院長 飯尾賢治



本年度も院長を務めさせていただきますが、年度初めに最近の病院に関する状況についてお伝えいたしたいと存じます。

本稿執筆時点（平成 26 年 5 月中旬）では、遅ればせながら療育医療総合センター（仮称）のⅠ期工事の建設業者が決定し、ようやく重病棟（リハビリセンター、エネルギーセンター、給食を含む）の工事が開始されようとしているところまで、こぎ着けることができました。ここに至るまでに、病院職員には今まで経験のない基本設計や実施設計に関して各部署内外で検討を重ねており、多大な労力を費やしてもらったことに対して感謝の意を表したいと思えます。

予定ではⅠ期工事は平成 28 年 1 月に終了しますので、今から 2 年足らずで新しい重病棟がお目見えます。Ⅰ期工事完了後に現在のこぼと学園を解体し、Ⅱ期工事として病院、研究所および福祉型障害児入所施設の入った本館棟を建築し、平成 30 年度末までには完成する予定となっています。

さてここで、平成 19 年に策定されたコロニー再編計画は、策定以来 7 年医療情勢の変化等もあり、一部見直しを余儀なくされたため、現時点での方向性を概観したいと思います。まず、県地域医療再生計画においてコロニーを障害者医療の拠点施設として位置づけ、あいち小児保健医療総合センターの心療科を統合し発達障害医療の拠点として、また小児・周産期医療の後方支援施設として整備します。次いで、医師養成のため名古屋大学に設置した「障害児（者）医療学寄附講座」と連携し、コロニーや他の拠点施設などと地域の医療・療育機関とのネットワークを構築します。さらに、障害のある方が地域で安心して医療等を受けられるようにするため、地域の医療関係者等への教育研修を行います。



<新病院の完成予想図>

念願の新しく明るくきれいで広いコロニー中央病院へのリニューアルはもう手の届くところまで来ています。しかし、裏返せばまだ 5 年は現在の病院で頑張らなければなりません。患者さんやそのご家族にも建物の老朽化でいろいろご不便等をおかけすることになりますが、病院職員の情熱と献身で補いたいと存じますので、なにとぞご理解ご支援のほどお願い申し上げます。

■中央病院の理念と基本方針

私たちは成長や発達に支援を必要とする方々に、より良い医療を提供するように努めます。

- 1 胎児期から成人までを対象とし、患者さんの目線に立ったやさしく安心できる医療を行います。
- 2 心とからだの成長・発達に影響する子どもの疾患を総合的に診断し良質な医療を専門的に提供します。
- 3 患者さんが自立した生活ができるよう、在宅支援や地域との医療連携を推進します。
- 4 成長・発達に影響する病気の原因追究および治療法の開発を発達障害研究所やこぼと学園と協力して進めます。

新任医師 紹介



副院長
脳神経外科部長
長坂昌登 先生

2010年3月まで約25年間、中央病院に在職していたので新任医師と名乗るのは面はゆい気持ちです。生まれは愛知県岡崎市です。この4年間は、あいち小児センターに勤務し、縁あっての異動となりました。誇れる趣味はありませんが、テニス、ジョギング、読書は好きです。最近は、膝の痛みなどで庭の草取りに励んでいます。齢を重ねたためか、コロニーの新緑をより鮮やかに、周回道路の凸凹を風情のある景色と感じました。今後は、成育期になった子どもたちに適切な医療と情報を提供し続けたいと思っています。



脳神経外科
永井俊也 先生

4月から脳神経外科に赴任しました永井俊也です。名古屋市出身です。これまで3年半程の間、名古屋大学脳神経外科の機能神経外科グループの一員として、てんかんやパーキンソン病、ジストニア等の変性疾患の手術治療に携わっていました。趣味はドライブ、海外旅行、水泳です。初めてこちらの病院に来たときは、自然に囲まれ心が落ち着く印象を受けました。今まで経験を活かしながら頑張りますのでよろしくをお願いします。

歯科



橋本広季 先生

- ・出身地：岐阜県
- ・前任機関：開業医・朝日大学障害者歯科
- ・趣味：温泉旅行・映画鑑賞・魚釣り

コロニーは自然が豊かで、季節を感じるにはいい所だと思います。建物は古いのですが、歴史の重みを感じます。たくさんの方の事を吸収し、私自身もう一回り成長できればと思っています。今後は患者さんが病院に来ることが苦にならず、少しでも楽しいと思ってもらえるような雰囲気づくりや成功体験を積めるような働きかけを心掛けたいと思っています。



鈴木恵子看護部長

看護功労賞受賞

平成二十六年五月十二日に行われた愛知県看護大会で、大村秀章知事より看護功労賞をいただきました。

ひとえに皆様のおかげと感謝しております。看護師となつてコロニー一筋で勤務して三十六年を迎えました。振り返れば、涙あり、笑いありでした。退職まで三年を切り少し疲れはきていますが、この受賞を新たなエネルギーに変えて新センター設立に向け頑張りたいと思っています。

(鈴木恵子)

— 東海地方で唯一の視覚障害訓練を実施 —

視覚障害と聞くと目の見えない人と思われることが多いかと思いますが、全く見えない人もいれば、矯正しても視力が出ない人、視野が狭い人など見え方はひとりひとり違います。

視覚障害訓練室には眼に疾患のある方、中枢性視覚障害の方が来室されます。中枢性視覚障害とは、眼そのものに問題があるのではなく、眼に映ったものを脳でうまく処理できない状態です。物を見つけるのに時間がかかる、おもちゃに手を伸ばさないなどの状態があげられます。来室される方の多くは、てんかんや脳性まひ、知的障害など複数の障害があります。なかには医療的ケアが必要な方もいます。

視覚障害のお子さんと中枢性視覚障害のお子さんとは対応は違いますが、どちらもどのように目を使っているのかを評価し、見るためのよりよい環境を整えます。視覚障害の場合では必要に応じて点字や白杖の導入も行います。中枢性視覚障害の場合は、見せる物（色やコントラスト）と見せ方、姿勢や呼吸の状態などが大切です。患者さんの様子を見ながら、どういうものが好きかを来室される保護者の方と一緒に話をして進めています。

視覚障害訓練を行っているところは東海地方では当院しかありません。患者さんは愛知、岐阜、三重の広い地域から来室されています。見ることが上手になると反応も変わってきます。お子さんの状況をしっかりと理解して、楽しい経験を通して見るが増えるような関わりを心がけています。



<視覚訓練の風景及び訓練室>



委員会の お仕事

<呼吸ケアチーム委員会>

コロニー中央病院には重度の障害を抱え自らの力では安定した呼吸が出来ず、理学療法、吸痰、気管切開あるいは人工呼吸器療法などの医療的ケアを必要とする患者さんが多く通われています。呼吸ケアサポートチーム委員会は医療スタッフがそのような患者さんへのケアが安全かつ効果的に



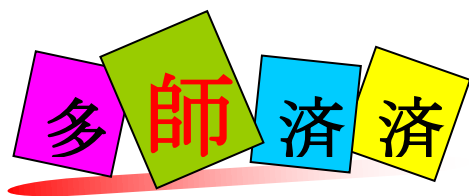
<呼吸ケアチーム>

Respiratory Support Team

実践できることを目標に掲げ、平成22年度から活動を開始しました。メンバーは医師、呼吸療法認定士等の資格を有するまたは呼吸療法に興味関心のある看護師、理学療法士や臨床工学技士で構成しています。

活動内容は「心身障害者の呼吸障害」をテーマに病状や医療機器を含めた治療の理解を深めるための勉強会、入院されている病棟患者さんの回診を行ってきました。今年度はこれらに加え、院外の医療機関向けの呼吸ケア研修会の企画を予定しています。

呼吸ケアに関連する医療機器、理学療法は年月の経過とともに進歩し、以前に比べれば、はるかに使い勝手のよい在宅人工呼吸器、排痰補助装置の種類が増えました。それらを含めた呼吸ケアを院内スタッフ皆が習得し、当院を利用されている患者さんへの安全かつ質の高い呼吸ケアの提供につながればと考えています。 (委員長 山田桂太郎)



指導相談部 ケースワーカー

小崎祐美子

病院内を白とピンクの車いすでシューッと駆け抜けている人を見かけたことがありますか？それが、私です。

本拠地の指導相談室は病院の隅っこに細々とありますが、病棟や外来へ出向くことも多く、見かけたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

自分自身が幼少の頃から車いすにのって生活しており、物心ついたときには「病院のケースワーカーになりたいなあ」と思っていました。その夢を叶えて早5年目。いろいろな相談をお受けして、やりがいを感じていると同時に、障害のあるお子さんをお持ちのご家族から逆に勉強することや、元気をもらうことも多い毎日です。

専門は、障害者スポーツ。パラリンピックにでるようなアスリートから、スポーツに出会っていない子どもたちが、「スポーツに出会い、続けられるようになるにはどうしたらよいか」という研究を進めています。その研究の中で「障害が重すぎてスポーツなんてできるわけない」という思いや「重い障害の子がスポーツできる場所や指導者がいない」ということも明らかになり、それらの問題をどう解決していくかを今後の課題としています。

スポーツは、障害のある子どもやご家族にとっても、音楽や映画鑑賞と同じようにリフレッシュツールの一つだと考えています。子どもにとっては、社会性を身に付けるよい手段でもあります。

病院でのケースワーカーのお仕事は、患者様とそのご家族から医療費や福祉制度、コロニーではレスパイト（レスパイト入院やショートステイ）に関わるご相談を受けて、その対処方法について専門的な知識を使いながら、“一緒に”考えていくことです。その中に、リフレッシュや今後の目標として“スポーツ”も、取り込んで援助できたらなという思いもあります。また、障害のある自分自身の経験もお役に立つときがあるかもしれません。

障害のある人のスポーツに興味がある方はもちろん、そうではない人も気軽に相談室にお越しください。

～問診票～

- 出身地はどこですか？
愛知県瀬戸市
- コロニー在籍何年ですか？
3年+2年目（途中4年間は別の所属にいました。）
- 趣味は？
障害者スポーツに関すること。海外ドラマ（CSI）を見ること。寝ること。
- 血液型は？
A型
- 猫と犬どっちが好きですか？
断然ワン派。実家の愛犬を溺愛しています。
- マイブームは？
ミラーレス一眼を買ったので、写真を撮ること。
- 最近、気になるニュースは？
テニスの錦織選手の活躍とブラジルワールドカップ。
- コロニーで好きな所は？
入口からバスロータリーまでのくねくね路。朝は木々の隙間からおひさまがキラキラ差し込んできます。